Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2026-11-27

明治期の神戸病院の跡地を尋ねて

寺島, 俊雄
薛, 富義

(Citation)
神緑会ニュースレター,5(4):23-27

(Issue Date)
2014-02-28

(Resource Type)
article

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/90003008

KOBE UNIVERSITY

明治期の神戸病院の跡地を尋ねて

神戸大学大学院医学研究科 神経発生学分野　寺島　俊雄（特別会員）・薛　富義（技術専門員）

神戸大学医学部の母体となった神戸病院（後の公立さらに県立神戸病院）は、明治２年に創設された。外国人医師を招聘し、西洋医学による施術を行うことを目的とした神戸病院は、当然のことながら洋風建築でなければならなかった。ところが当時の神戸周辺の大工や棟梁たちは、図面の読み方から採寸まで、洋館建築の工法が全く理解できず、わざわざ横浜まで学びに行き、見ようみまねで建築にとりかかったらしい。当時の記録として、明治元年４月10日に仮病院の上棟式を行ったものの、その夜、たまたま暴風があり、せっかくの建物が一夜にして壊れてしまったとのことであるから、当時の関係者の苦労はいかばかりであったろうか[1]。困難にもめげず、再び起工し、明治２年４月20日に神戸病院は落成する。藤田英夫氏の研究によれば、神戸病院の位置は現在の下山手通八丁目の雅叙園ホテルに相当するという[2,3]。そうであれば楠キャンパスから東南の方向１キロ内外の所に神戸大学医学部の発祥の地があるはずである。神戸大学医学部に職を得ている者として、その発祥の地を知らないのは恥という思いに駆られた私たち二人は、平成25年８月15日の終戦記念日の昼休み、神戸病院周辺の古地図（図１）[4]と下山手通八丁目界隈のグーグルマップのコピーを片手に、楠キャンパスの基礎学舎を出発した。地下鉄大倉山駅から宇治川商店街を南に下がり、スーパー・ジョイエールの角を左に折れて本願寺神戸別院（俗称 モダン寺）に向かうと、神戸病院の位置を決める上で重要な役割を果たした再（ふたたび）山道を示す道標を見つけることができる（図２、図３）。再度山（ふたたびさん）は、その昔は摩尼（まに）山といった。弘法大師（空海）は、唐へ渡航する前に船旅の安全と学問成就を摩尼山で祈願したが、無事、帰国を果した空海が報恩のために「再び」同山を訪れた故事にちなんで摩尼山

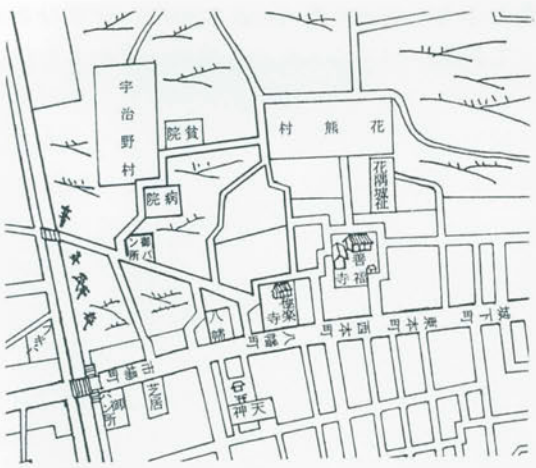


図１　兵庫県御免許開港神戸之図（部分）。病院（神戸病院）の南に御バン（番）所があり、その前の辻に道標がある。神戸病院の東南にある善福寺は本願寺神戸別院（通称 モダン寺）の前身。



図２　再（ふたたび）山道を示す道標（右端）。一方通行の道は再（ふたたび）山道。道標前の常盤湯はない。



図３　道標の南面の写真。「左 再（ふたたび）山道」。

を「再度山」というようになった。神戸大学医学部五十年史（以下50年史とする）[5] によれば、この道標のすぐ前に「常盤湯」があるはずであるが、常盤湯は震災後に廃業し既に無い。道標を過ぎてさらにモダン寺の方向に向かい、洋食の朝日、焼肉の満月を経て、西田歯科医院前に至る。この歯科医院の横にある急勾配の坂を江馬坂という（後述）。江馬坂は図１の古地図にはないが、グーグルマップには江馬坂の名前は無いが道路はある。この江馬坂を山側に上ると、その左手（西側）に神戸雅叙園ホテルがあるはずだ。少なくともグーグルマップではそうなっている。しかし、幾らしらみつぶしに探してもホテルは発見できない。やむなく近所の方に神戸雅叙園ホテルの所在を聞くと、震災で壊れて、マンションになったとのことである。そのマンションは、「ジオコート元町山手」といい、グーグルマップでもその名前を確認できる。このマンションの山側に雅叙園の冠の付いた駐車場（雅叙園モータープール）があることより、確かにこの一帯は神戸雅叙園ホテルと関係があるようだ。このマンションとモータープールの間の路地を西に20メートルほど進むと３階建の洋館があり、なんとその表札に（株）雅叙園ホテルとある。グーグルマップにもその表示が確認できるが、どう見ても一般の住居で、ホテルのように見えない。判然としないが、雅叙園ホテルは震災で消失し、その跡地にマンション、モータープール、そして（株）雅叙園ホテルの表札を掲げる洋館があるようだ。こうして１時間ほど下山手通八丁目界隈を歩き回った私たちは、暑さに辟易としながら、やっとの思いで大学に戻った。

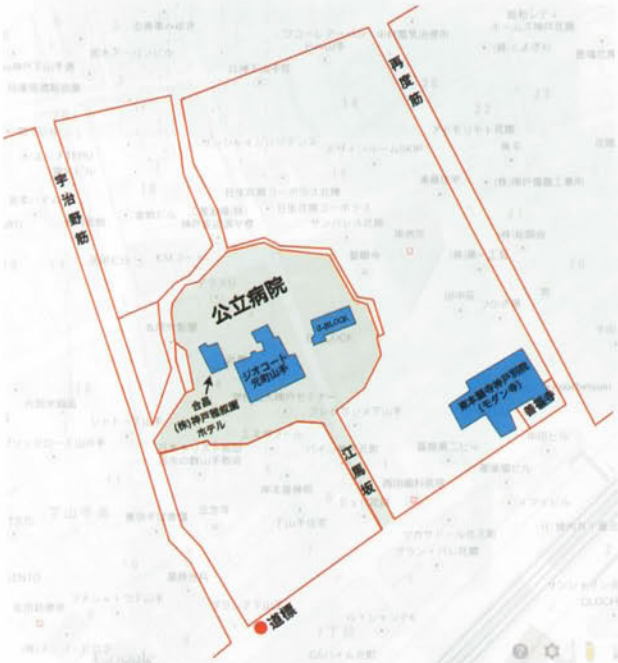


図４　グーグルマップに神戸地籍之図（明治10年ごろ）（赤）を重ねる。

大学に戻って考えてみると、どうにも使用した古地図があまりにも雑駁すぎることが気になった。そこでもう少し詳細な神戸地籍之図（明治10年ごろの地図）をスキャナーで取り込んで、これをパソコン上で赤いラインでなぞり、それをグーグルマップの上に重ねた（図４）。その際に下山手通八丁目の再山道の道標と善福寺（のちのモダン寺）の二つに注意して図の縮尺を変え、回転させた。そうすると、ものの見事に、公立神戸病院の敷地の江馬坂より西の部分に、上記のマンション、モータープール、（株）雅叙園ホテルが入った。さらに江馬坂の東側にある単位制の学校の神戸セミナーや別のマンション G-BLOCK も公立神戸病院の敷地内に収まった。神戸病院の敷地は、おおよそ隈病院の西側に広がると想像してもらえれば良いだろう。

私たちの神戸病院の跡地探しの旅はこれで終わるはずであった。しかし、神緑会の前田盛会長から、著者の一人（寺島）に、神戸病院の跡地について実地に教えて欲しいという電話が入った。この電話を機会に、私たちの旅は思いもかけない方向に進んでいった。11月１日に前田理事長を伴い、再度、下山手通八丁目の道標、件のマンション、雅叙園モータプールに赴き、最後に（株）雅叙園ホテルと表札にある洋館の前に至った。アポなしであることに躊躇はしたが、思い切ってインターホンを押したところ、当主の東 康泰（あずま やすひろ）さんが玄関先に出てこられて、親切に私たちを中に招き入れてくださった。東さんの話では、雅叙園ホテルは旧館と新館があり、いずれも震災で傾き、修復するには多額の費用がかかることより再建をあきらめたとのことである。そして、旧館はモータープールに、新館はマンションに建て替えたとのことであった。さらに東さんの先祖は陳という名の華僑で合昌号（ごうしょうごう）という屋号の貿易商であったこと、明治末に合昌号の事務所兼住居として木造二階建ての建物を当地に建てたこと、事務所は戦火に良く耐え、戦後、改装して神戸雅叙園ホテル（旧館）になったこと、ホテルの南側に新館を建てたとのことであった。そして、奥から１葉の古い

白黒写真を私たちに示した。おそらく明治末期であろう、雅叙園ホテル（旧館）の玄関先に、水タバコを手にした合昌号の経営者（創始者の陳平齋氏か？）が親族と日本人従業員を両側に従えて立っている（図５）[6]。非常に威厳があり、印象深い写真であった。私たちは、アポなしの訪問ということもあり、早々に帰路についた。

「合昌号」の創始者の陳平齋氏は、中国山東省の生まれで、飢饉のため故郷を離れ、上海にて成長し、明治維新の前後に小さな船で神戸に来たらしい[7]。そして苦労して貿易会社の「合昌号」を興し、マッチの貿易で頭角を現した。明治期の神戸は、我が国におけるマッチ製造の最大拠点で、その製品は、中国、インドネシア、そして遠くインドに輸出されていた。これらの地に強力なネットワークをもつ華僑は、マッチの輸出で財力を培ったのである。陳平齋、その子の陳源来率いる合昌号は、当時の神戸華僑の中では、最も有名な貿易商である呉錦堂（ごきんどう）が率いる怡生号（いせいごう）に次いで第二位の貿易高を誇った。神戸華僑は、革命家孫文を強力に援助したが、図６に示した写真は、1913（大正２）年に神戸を訪れた孫文の歓迎会のもので、合昌号の陳源来の顔も確認できる。

神戸病院は1900（明治33）年に下山手通八丁目から楠町に移動するのであるが、移転するまでの神戸病院については、住野公昭名誉教授（公衆衛生学）の論文に詳しい[8, 9]。本稿では、神戸病院の移転後の跡地について若干の補足をしたい。当時の神戸病院の院長であった江馬賤男（えましずお）は、神戸病院の移転先として楠町の地が早晩狭隘になるとして、平野に移転することを主張したが、この主



図５　合昌（ごうしょう）号の事務所の玄関前に並ぶ合昌号の面々。（文献６より）



図６　呉錦堂（ごきんどう）の別荘で開催された孫文の歓迎会。前列左から５人目が孫文、６人目が呉錦堂。後列左から７人目が合昌号の陳源来。（文献６より）

張は退けられた。江馬は憤然として院長職を辞し、1898（明治31）年に花隈町の自宅に江馬内科医院を開業する[10]。開業医として斬新なアイデアの持ち主であった江馬が開いた内科医院は、盛況を極め、1903（明治36）年に神戸病院の跡地の下山手通八丁目に江馬病院を新築することになる。ここでも医業は繁盛し、江馬病院の前の坂は多くの人力車で埋まり、坂の下には人力車を押すことにより小銭を得ることを目的とした浮浪者がたむろしていた。こうしてこの江馬病院前の坂を江馬坂というようになった[11]。この江馬病院は、1935（昭和10）年ごろまで下山手通八丁目に存続した。合昌号の第３代目陳（東）叔康氏は、大正期の思い出として、合昌号の前東に江馬病院があったと述べている[8]。また「江馬坂の東側に江馬病院があり、その道路向かいに雅叙園ホテル旧館があった」という記載を神戸新聞に見つけることができる[11]。前述したように神戸病院の跡地は江馬坂の東西に広がるが、江馬坂の東が江馬病院で、その西が合昌号（後の神戸雅叙園ホテル旧館）で、両者は坂を隔てて相対していたことになる。

この合昌号の事務所は、1952（昭和27）年に改装されて雅叙園ホテルになる。雅叙園ホテルは、泊まれる異人館ホテルとして人気であったらしい。北野坂界隈のコロニアル形式の異人館と違って、スクエアな二階建て建築の雅叙園ホテルは、写真で見る限り、とてもシックである（図７）。玄関先には６段の石の階段があり、上り詰めたところに１対の高い門柱がある。この門柱は、現在は、江馬坂を挟んで反対側のマンション G-BLOCK の前に移設され

て、異彩を放っている（図８）。この門柱が、神戸病院の入り口の門柱に似ていて気になる。もし、この門柱が神戸病院の遺残であれば、神戸病院ゆかりのもので唯一実用に供されているものかも知れない。一方、1980（昭和55）年に竣工した雅叙園ホテルの新館は、旧館の海側に隣接していた。新館は地上７階、地下１階のホテルで、旧館のエキゾチックな雰囲気を壊さないように工夫された設計だったらしい。田村正和主演の「過ぎし日のセレナーデ」などテレビドラマなどにも使用されたようである。雅叙園ホテル新館の写真はなかなか見つけることができなかったが、「近代建築」という雑誌に設計図と外観および内装の写真を見つけた（図９）[12]。明治41年（一説には明治39年）に創建され、戦災にも耐えた旧館に比べて、新館の命は短かった[13]。旧館、新館ともに1995（平成７）年の震災で損壊し、今ではそれぞれ、モータープールとマンションになった。

以上が下山手通八丁目における神戸病院の跡地の物語である。神戸病院の跡地に雅叙園ホテルは既に無く、マンションと雅叙園モータープールになっている。そしてこの小文が世に出るころには、そのモータープールも現在建築中のマンションに代わっていることだろう。私たち二人の神戸病院の跡地を尋ねる小さな旅は、こうして終わりを迎えることになった。

（平成26年１月８日記）



図７　泊まれる異人館ホテルとして人気が高かった雅叙園ホテルの旧館。奥に新館が見えるから昭和55年以後の写真だろう。



図８　雅叙園ホテル旧館の門柱は道路向かいのマンション前に移設された。



図９　雅叙園ホテル新館の遠景。（文献12より）

文献と注釈

（１）村田誠治著　神戸開港30年史 1898（明治31）年.

（２）藤田英夫著　神戸病院の明治初期の写真に関する一考察　神戸史談255号、1-10, 1984（昭和59）年.

（３）藤田英夫著「大阪舎密局の史的展開　京都大学の源流」page 174-183. 思文閣出版（京都）1995（平成７）年.

（４）若林良 図写　兵庫県御免許神戸開港之図　小嶋屋伊兵衛出版（大阪）　1868（慶応４）年.

この図版は何度も繰り返して出版されており、明治２年に創建された神戸病院を確認できる。
（５）神戸大学医学部50年史編纂委員会編（委員長岡田安弘）神戸大学医学部五十年史　1995（平成７）年５月発行.
（６）鴻山俊雄著　神戸の外国人―外国人墓地と華僑風俗―　華僑問題研究所　1984（昭和59）年６月発行.
（７）池田健雄著　ある華僑の家族の歴史―神戸華僑陳氏調査ノート. 千葉大学人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書264, 37-48, 2013（平成25）年
（８）住野公昭著　明治期の神戸病院―40周年記念事業資料から―　神戸大学医学部神緑会学術誌 1, 57-59, 1985.
（９）住野公昭著　明治期の神戸病院　―その後の資料から―　神戸大学医学部神緑会学術誌２, 85-89, 1986（昭和61）年.
（10）江馬文書研究会（著）江馬家来簡集 思文閣出版　1984（昭和59）年３月　page 290.
（11）坂物語　江馬坂　神戸新聞（神戸市内版）1986（昭和61）年５月23日版.
（12）宮谷栄治著　神戸雅叙園ホテル　近代建築 1981（昭56）年４月号, 75-79.
（13）合昌号の２階建て木造の事務所兼住居が下山手八丁目に建築されたのは、近代建築（12）および鴻山著「神戸の外国人」（６）によれば明治41年であるが、神戸新聞の坂物語の記事（11）、住野名誉教授の論文（８）では明治39年となっていて判然としない。

Webサイトの構築・管理 / 集客・顧客管理ツール
Webコンテンツで集客・契約率をUP！
Web戦略ならおまかせ!!
目的に合わせた、効果的なWebサイトを制作いたします。
●お客様への認知度アップを図りたい…　●タイムリーに企業情報を発信したい…
●採用情報でよい人材を確保したい…　●忙しくて頻繁に更新する時間がない…
etc
幅広い業種のWeb制作実績
集客力に繋がるSEO対策
HP制作中も後も手厚いフォロー
お客様を逃がさずゲット
新規顧客開拓ツール らくらく 顧客開拓
1 関心度の高い顧客をリストアップ
2 事前に起業の興味を把握して、営業活動
3 企業ごとにアクセス解析が可能
既存顧客マーケティングツール
モバイルを使った集客・会員管理まで…
メール会員になってもらい、定期的にお知らせやお得な情報を店側から発信する積極的マーケティングのお手伝い。
モバイルサイトも制作OK!
交友印刷株式会社
本　社　〒650-0047 神戸市中央区港島南町５丁目 4-5　TEL.078-303-0088（代）FAX.078-303-1320
はりま支店　〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 251 番 1 松庵弐番館 101 号　TEL.079-456-1251　FAX.079-456-1252
友月書房　〒651-0096 神戸市中央区雲井通５丁目３-1 サンパルビル 2F　TEL.078-221-4886　FAX.078-221-4887
E-mail:info@koyu-p.co.jp　http://www.koyu-p.com
交友印刷　検索
ISO9001 認証取得 本社・はりま・PC
FSC FSC® C043996